

指導例2

【本時の言語活動】

例)

アメリカ人の友人と「高校を卒業した後、自分の車が欲しい」という話をしています。その会話の中で、友人が下のような質問をしました。あなたなら何と答えますか。



Which do you want, a gasoline car or an electric car? And why?

ガソリン車と電気自動車、どちらが欲しい？
なぜそう思う？

※高校1年生の英語コミュニケーションⅠの授業において、教科書で「電気自動車」に関する英文を読解した後に行う活動を想定しています。

指導例2

【領域】

話すこと(やり取り)

【対象校種】

中学校、高等学校

【使用ツール】

テキストマイニング作成サイト
音声作成サイト

Google classroom



Google ドキュメント



【ICT活用の目的】

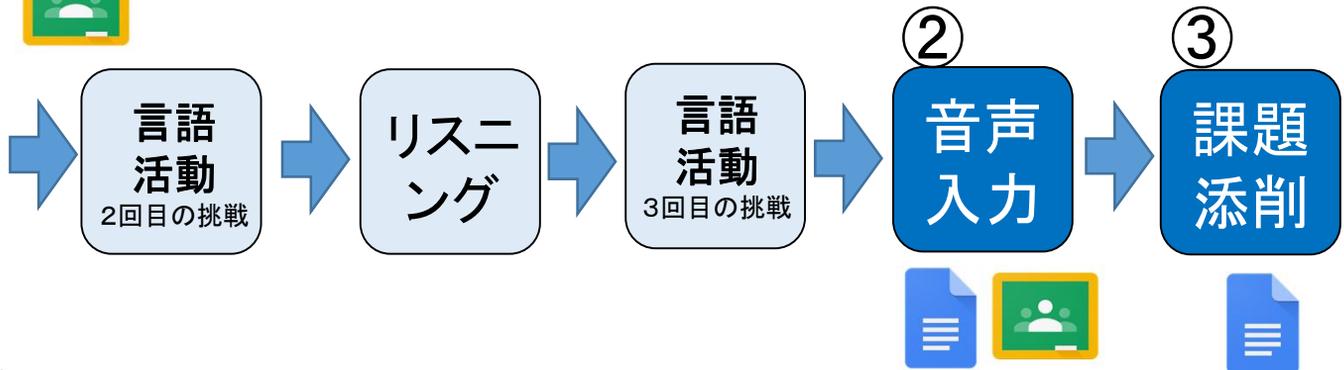
- キーワードや音声をヒントにして、自分の考えを広げる。
- 英文の添削を受けることで正確性を向上させる。

授業準備と指導過程

下の流れの①～③でICTを活用します。本時の言語活動を3回繰り返し、キーワード等のヒントを活用して考えを徐々に広げていけるようにします。

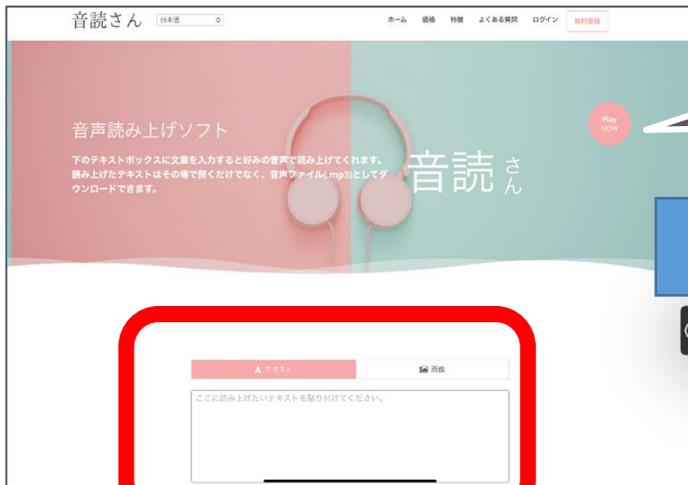


- ・テキストマイニング作成サイト
- ・音声作成サイト



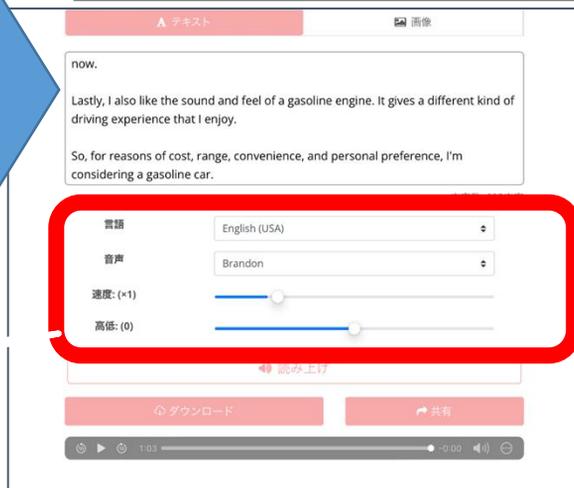
①授業準備

課題の回答例として何種類かモデル文を作り、音声作成サイトで音声データを作成しておきます。これを聞くことで生徒は自らの考えを膨らませることができます。今回は一例として、「音読さん」というサイトを紹介します。



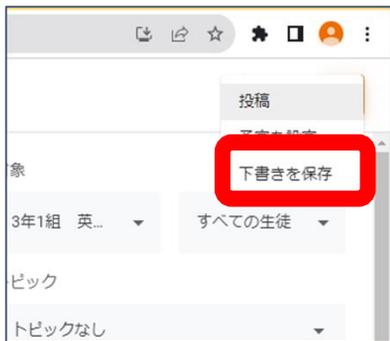
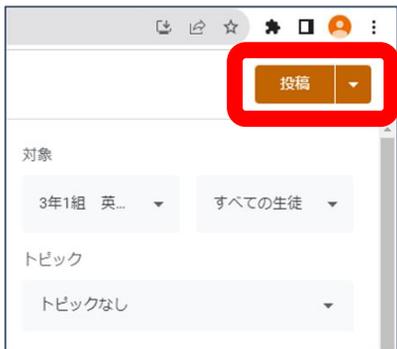
音声や速度を調整可能。

例) 音読さん
英文を貼り付けると音声データを作ることができる。mp3形式でダウンロードも可能。



①授業準備

使用予定の全てのデータと課題をGoogle classroomに「下書き保存」



右側▼をクリック



「下書きを保存」にしておくと、授業中の使用したいタイミングで配信できる。

②音声入力



Google ドキュメントに音声入力

言語活動で話した内容を記録するために、音声入力機能を活用します。話した内容を記録することに加え、自分の発音が正しく認識されるか確認できます。



音声入力がうまくいかなかった部分は
タイピングで修正する。

ツール→音声入力で開く。
言語をEnglishに設定する。

I want an electric car because they are better for the environment.

Regular cars use gasoline, which makes the air dirty.

Electric cars use clean electricities, so they didn't pollute the air.

Electric cars are also quiet, which is nice for people and the environment.

They save money because electricity is cheaper than gasoline, and they need less maintenance.

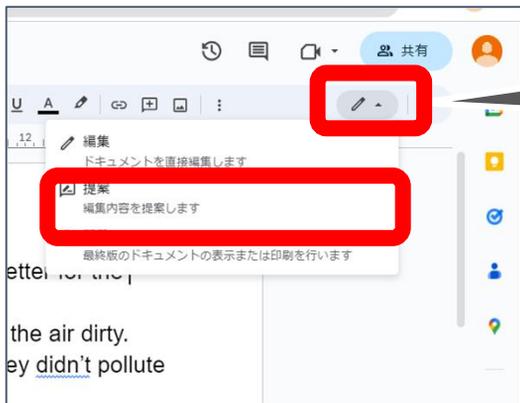
Plus, they're cool and fun to drive.

So, I want an electric car to help the Earth

③課題添削

生徒の入力した英文を添削

Googleドキュメントの「提案モード」を活用して、言語活動の中で生徒が話した内容を教師やALTが添削することで、生徒が自分が作った英文の正確性に対する知識を身に付けることができます。



画面右上から「提案モード」に変更する。

生徒は提案を確認すると自動的に消える。

